

竹ヤリでは間に合わぬ

COLUMN
県内
大学発

経世済民

(551)

埼玉学園大

新型コロナウイルス世界的まん延の中、考えさせられることがある。一つは、米空母艦長が艦内感染拡大を軍上層部に直訴し艦長解任、もう一つ、マスク不足対応で安倍政権が5千万世帯にマスク2枚ずつ配布。

■空母艦長の解任

米空母でコロナ感染者が出た。作戦行動を続けるとまん延し犠牲者が激増する。艦長は、直属上官の空母打撃群司令に寄港と全乗員下艦を進言。だがバシたら作戦行動に支障をきたすので不許可にしたようだ。

そこで、艦長は部下の命を守るため、軍上層部に直訴、マスクにもリク。(この決断は「緊急避難的措置」だろう。乗員は寄港地で無事下艦し、「クルーズ船」のような悲劇は回避。英

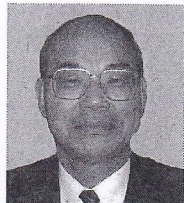
断を下した艦長が艦を去る際、ほとんどの乗員が拍手喝采して称賛・感謝したという。去ったのは艦長を解任されたから。軍人は、人命を重んじるところを聞いたことがある。軍隊は直属上官の命令が絶対、兵の勝手な行動や作戦情報の漏洩で全滅しかねないから。上層部への直訴と「軍事機密」漏洩は軍規違反、軍法会議で重罪。艦長解任ではすまないが、海軍は「人命優先」艦長を「温情処分」したと思う。これがコロナ恐慌の本質。

■アベノマスク

日本があきれたのが、安倍政権が全世帯に布マスクを配布すること。もちろん、マスク不足が深刻化する中、実に466億円の税金投入も可かもしれない。

相沢 幸悦

経済経営学部特任教授



い。ただ、財源が豊富にあれば、これも学校一斉休校同様、世の中が驚く政策を、という首相取り巻きの進言らしい。

「アベノミクス」は、日銀に非常識緩和の「指示」で成功した。平時だったからだ。安倍氏はよく旧民主党政権を批判するが、私は常々止めたらと思っていた。未曾有の原発事故への対応もあつたから。

安倍政権の7年は、世界経済がリーマン・ショックを克服し順風満帆の時期だった。運がよかっただけで、何かが起こったと危惧していた。もちろん、その何かが、何かは分からなかった。それが、バスト、「スペイン」風邪に続く、人類第三の危機とは。

安倍氏のコロナへの無策は、本質の無理解による。コロナ恐慌を経済恐慌だと勘違いしており、企業への金融支援、所得減のり！

世帯に30万円支給、挙げ句の果てに感染予防にマスク配布など。コロナ恐慌は、治療薬とワクチンの登場で終息する。経済恐慌と異質で、経済崩壊を覚悟しなければならない。近代市民社会の大原則は、国家は国民の生命・健康を守る、だから。マスク配布は、対米戦争末期「竹ヤリでは間に合わぬ」という新聞記事を想起させる。竹ヤリではなく最新兵器を、だったのだが、記者は懲罰徴兵され南方の最前線へ。

経済恐慌は供給の激減で終息するが、コロナ恐慌は需要停止で勃発。だから、部品が入らないとか、売れないとかで供給が激減しても終息せず、経済崩壊。解決策は供給サイドへの損失補填。前年同様の供給分の財政補填でゼロ成長。今こそ、日銀に数百兆円規模の無利子永久国債を引き受けてもらう。経済崩壊回避の特効薬はこれだけ。損失補填は資本主義の大原則に反するなど、世界史的愚論。

コロナ恐慌の本質、ここにあり！

あいざわ・こうえつ 1960年生まれ。慶義塾大学大学院博士後期課程修了。現 埼玉学園大学経済経営学部特任教授、経済学博士。近著「定常型社会の経済学」(ミネルヴァ書房、20年)。